

シニア・プレシニア向けアンケート調査 分析結果

2023年1月19日

東京都 福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課

シニア・プレシニア向けアンケート調査の概要（再掲）

- 都内のシニア・プレシニアのオンラインプラットフォームの活用にあたっての要望、課題等を把握することを目的として、都内のシニア・プレシニアを対象としたWebアンケート調査を実施。調査の概要は以下のとおり。

シニア・プレシニアに関するアンケート調査	
調査目的	<ul style="list-style-type: none">都内のシニア・プレシニアのオンラインプラットフォームの活用にあたっての要望、課題等を把握すること
調査対象者	<ul style="list-style-type: none">社会参加活動に関心があり、東京都内に住む50歳以上の男女（≒オンラインプラットフォームのアーリーアダプター層）※社会参加全般に関する意向は過年度調査にて確認済みのため、今回はアーリーアダプター層のニーズや課題認識を確認することを主とする想定。※Webアンケート調査での実施となるため、回答者は比較的ITリテラシーが高い層になる見込み。
調査方法	<ul style="list-style-type: none">調査会社の登録モニターへのWebアンケート調査
サンプル数	<ul style="list-style-type: none">最大2,000サンプル※スクリーニング調査後のサンプル数
割り付け条件	<ul style="list-style-type: none">「社会参加活動に関心がある」かつ「都内在住」かつ「50代以上」を条件としたスクリーニング調査により対象を抽出。50代、60代、70代の3区分についてそれぞれ約500サンプル確保する。80代以上については最大500サンプルとして実査期間中に回収できた件数までとする。50代、60代、70代の3区分については男女比が均等になるようにする。
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none">スクリーニング設問（性別、年齢、居住地域、社会参加活動への関心の有無）基本情報（世帯構成、身体の状態、ICT機器等の利用状況）社会参加活動の実施状況オンラインプラットフォームの活用に関する認識広域的な社会参加活動の現状・ニーズ

※当アンケートにおけるプレシニアとは概ね50歳～65歳の方を想定

前回の委員会での議論を踏まえた追加集計

- 前回の委員会等において委員から頂いたご指摘を踏まえて追加集計を実施。
- ご指摘事項及び追加集計項目は以下のとおり。

No	ご指摘事項	追加集計項目
1	<ul style="list-style-type: none">• 「他の区市町村の活動への参加理由」について、区市町村別、地域別に状況を確認してほしい。	<ul style="list-style-type: none">• 「他の区市町村の活動への参加理由」×「特別区、多摩・島しょ地域」のクロス集計 ※区市町村別はサンプル数が少ないため、特別区と多摩・島しょの区分とした
2	<ul style="list-style-type: none">• 「居住地域での活動をできるだけ避けたい」という方の属性について、「他の区市町村の活動に参加するにあたっての課題・ハードル」とクロス集計をすることによって、分かることがあるのではないか。	<ul style="list-style-type: none">• 「居住地域での活動をできるだけ避けたい方」×「他の区市町村の活動に参加するにあたっての課題・ハードル」のクロス集計
3	<ul style="list-style-type: none">• 「居住地域での活動をできるだけ避けたい」という方の属性について、就労やボランティアなどの活動種別で偏りが出てくることが推測されるので、クロス集計で分析を行ってほしい。	<ul style="list-style-type: none">• 「居住地域での活動をできるだけ避けたい方」×「就労、ボランティア、学び・趣味活動の参加状況」のクロス集計

追加集計結果：「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい方」の属性等①

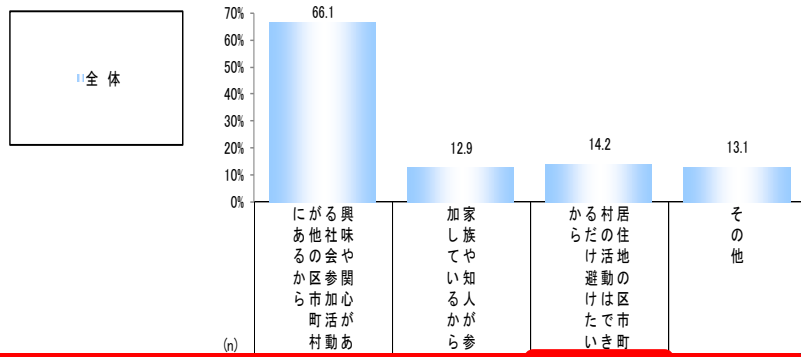
「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい方」について追加集計を実施。

4. 広域的な社会参加活動の現状・ニーズ

(2) 他の区市町村の活動への参加理由

現在居住している区市町村以外の社会参加活動に参加している又は、参加してみたいと思う理由として、あてはまるものを全て選択してください。
(複数選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1285】



性別×年代	(n)	興味や関心があがる	家族や知人が参加している	居住地の区市町村以外の活動	その他
全体	1285	66.1	12.9	14.2	13.1
男性×50代	184	70.1	15.2	14.7	8.2
男性×60代	177	67.8	8.5	14.1	13.6
男性×70代	204	69.1	15.7	12.7	9.8
男性×80代以上	85	68.2	17.6	15.3	8.2
女性×50代	188	66.5	8.5	19.1	11.7
女性×60代	183	60.1	11.5	14.8	19.1
女性×70代	233	63.9	14.2	11.6	16.3
女性×80代以上	31	58.1	19.4	3.2	22.6

【居住地とのクロス集計】

- 居住地別にみると、「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい」との回答の割合は「特別区」と比較して「多摩・島しょ地域」の方が5p程度高い傾向がみられた。

	(n)	興味や関心があがる	家族や知人が参加している	居住地の区市町村以外の活動	その他
全体	1285	66.1	12.9	14.2	13.1
特別区(23区)	870	66.6	13.2	12.6	13.4
多摩・島しょ地域(39市町村)	415	65.3	12.3	17.3	12.3

※区市町村別はサンプル数が少ないため、特別区と多摩・島しょの区分とした。

【他の区市町村の活動に参加するにあたっての課題・ハードルとのクロス集計】

- 「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい」と回答した方は、「それ以外の理由」を回答した方と比較して、「どこに相談や申し込みをしてよいかわからない」「必要な手続きの負担が大きい」「移動の負担が大きい」を課題・ハードルとして回答する割合が大きい傾向がみられた。

	(n)	活動にいく必要とする情報収集が難しい	どこに相談や申し込みをしようかわからない	参加するための必要な手続きの負担が大きい	移動の負担が大きい	その他	特に課題やハードルはない
全体	1908	36.6	34.4	21.0	38.5	1.5	23.6
居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい	182	44.0	48.4	29.7	44.0	0.0	13.7
それ以外の理由	1103	43.3	40.3	21.8	33.3	1.3	20.8

追加集計結果：「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい方」の属性等②

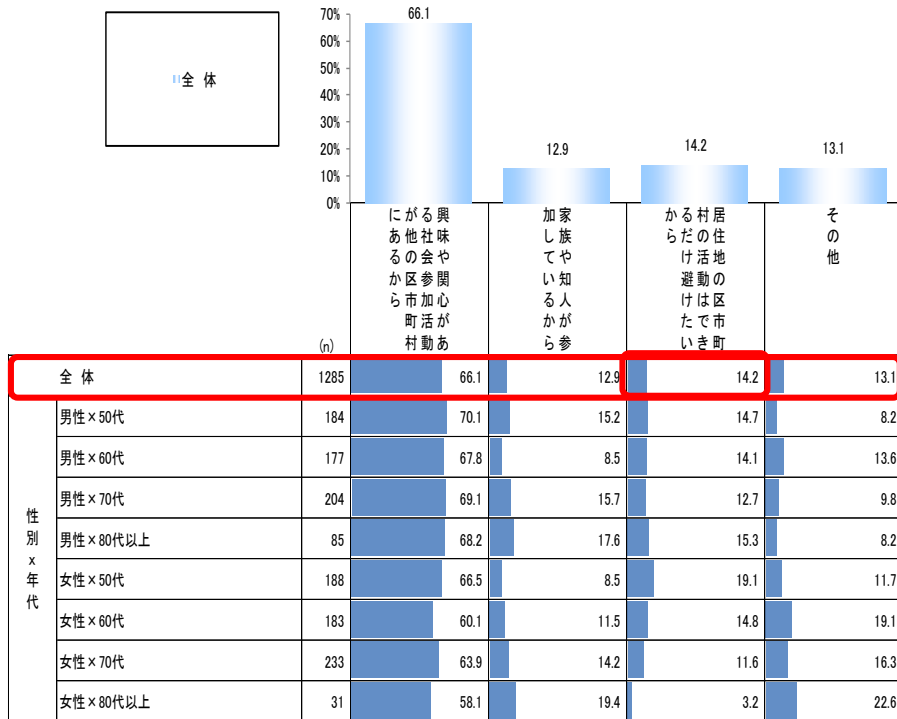
「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい方」について追加集計を実施。

4. 広域的な社会参加活動の現状・ニーズ

(2) 他の区市町村の活動への参加理由

現在居住している区市町村以外の社会参加活動に参加している又は、参加してみたいと思う理由として、あてはまるものを全て選択してください。
(複数選択)

【単純集計、クロス集計（性別×年代）、n = 1285】



【就労、ボランティア、学び・趣味活動の参加状況】

- 「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい」と回答した方は、「それ以外の理由」を回答した方と比較して、就労、ボランティア、学び・趣味活動のいずれについても「実施している」の割合が低い傾向がみられた。
- 「居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたい」との思いが社会参加活動の実施の阻害要因になっていることが示唆された。

	該当数	実施している					実施していない	
		(1週間に5〜7日実施している)	(週に2〜4日実施している)	(月に1〜2週間実施している)	(年に1回〜1日未満)	(年に数回)		
就労	全体	1908	50.7	31.3	14.0	3.3	2.0	49.3
	居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたいから	182	51.1	34.6	11.5	3.3	1.6	48.9
	それ以外の理由	1103	55.5	34.2	15.3	3.6	2.4	44.5
ボランティア	全体	1908	34.3	1.2	4.0	9.2	19.9	65.7
	居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたいから	182	25.3	0.5	1.1	3.3	20.3	74.7
	それ以外の理由	1103	38.9	1.5	4.7	10.3	22.4	61.1
学び・趣味活動	全体	1908	75.6	10.9	22.3	26.3	16.1	24.4
	居住地の区市町村の活動はできるだけ避けたいから	182	70.3	9.3	20.9	18.1	22.0	29.7
	それ以外の理由	1103	78.4	11.4	23.0	27.9	16.0	21.6